

都市再生整備計画 フォローアップ報告書
中野地区

平成24年11月

長野県中野市

1. 数値目標の達成状況の確認(確定値)

様式4-① 都市再生整備計画に記載した目標を定量化する指標の確定

指標	単位	従前値	目標値	事後評価				フォローアップによる確定値	計測時期	フォローアップ時点での達成度	確定値が評価値と比較して大きな差異がある場合や改善が見られない場合等		総合所見
				評価値	見込み・確定の別	目標達成度	1年以内の達成見込み				理由	改善策の方向性	
指標1	中心市街地歩行者減少率	%	4.2	2.0	7.3	確定 見込み ●	×	あり なし ●	7.7	H24年9月	×	買い物客の郊外流出や高校の統廃合により減少に歯止めがかからなかった。 <input checked="" type="checkbox"/> 改善策はそのまま <input type="checkbox"/> 改善策に補強が必要 <input type="checkbox"/> 新たに改善策をたてる	数値目標から低い水準ではあるが、歩道整備、公衆トイレ整備、広場整備など安全・安心な街づくりに繋がった。
指標2	放送による市情報の認知率	%	41.7	60.0	54.0	確定 ● 見込み	△	あり なし ●	/	/	/	<input type="checkbox"/> 改善策はそのまま <input type="checkbox"/> 改善策に補強が必要 <input type="checkbox"/> 新たに改善策をたてる	音声告知放送の加入率は大幅に増加しており、防災・防犯情報の連絡体制が充実した。また、屋内でも放送が聴けるようになり、放送の質が向上した。
指標3	市街地通過交通通過時間	分	10.5	9.0	9.0	確定 ● 見込み	○	あり なし	9.0	H24年6月	○	<input type="checkbox"/> 改善策はそのまま <input type="checkbox"/> 改善策に補強が必要 <input type="checkbox"/> 新たに改善策をたてる	時間短縮が図られるため、開通当初から交通量が多く、交通環境が向上した。

事後評価シート 様式2-1及び添付様式2-①から転記 ※全ての指標について記入

※フォローアップの必要のある指標について記入

※全ての指標について記入

様式4-② その他の数値指標の確定

指標	単位	従前値	目標値	事後評価				フォローアップによる確定値	計測時期	フォローアップ時点での達成度	確定値が評価値と比較して大きな差異がある場合や改善が見られない場合等		総合所見
				評価値	見込み・確定の別	達成度	1年以内の達成見込み				理由	改善策の方向性	
その他の数値指標1	中心市街地の通行量	台	36,607	/	35,437	確定 ● 見込み	/	/	33,926	H24年9月	/	<input type="checkbox"/> 改善策はそのまま <input type="checkbox"/> 改善策に補強が必要 <input type="checkbox"/> 新たに改善策をたてる	環状線の開通により中心市街地の通過交通量が減少した。これにより中心市街地の渋滞や交通環境が改善された。
その他の数値指標2	中心市街地におけるイベント数	回	6	/	10	確定 ● 見込み	/	/	10	H24年4月	/	<input type="checkbox"/> 改善策はそのまま <input type="checkbox"/> 改善策に補強が必要 <input type="checkbox"/> 新たに改善策をたてる	新たに4つのイベントが開催されるようになり、まちの賑わいに繋がった。
その他の数値指標3	音声告知放送の加入世帯数	戸	4,697	/	9,751	確定 ● 見込み	/	/	9,761	H24年4月	/	<input type="checkbox"/> 改善策はそのまま <input type="checkbox"/> 改善策に補強が必要 <input type="checkbox"/> 新たに改善策をたてる	小幅ながら音声告知放送の加入世帯数は増加した。

事後評価シート 様式2-1及び添付様式2-②から転記 ※全ての指標について記入

※フォローアップの必要のある指標について記入

※全ての指標について記入

2. 今後のまちづくり方策の検証

様式4-③ 「今後のまちづくり方策」の進捗状況

事後評価シート 添付様式5-③に記載した今後のまちづくり方策(事項)		実施した具体的な内容	実施した結果	今後の課題 その他特記事項
・成果を持続させるために 行う方策	中心市街地におけるイベント数の増加	中心市街地の歩道及び広場の整備	従来行っていたイベントに加えて、4つイベント(なかの巡りEYEウォーク、ローズタウンなかの、うた声バス、あんと市)が増加した。	現在行われているイベントの継続的な実施
	音声告知放送の加入世帯の増加	音声告知放送の加入を促進を図るために、広報誌に記事を掲載した。	小幅ながら音声告知放送の加入世帯数は増加した。	加入者負担の軽減や放送内容の充実等の対応策が必要
	避難施設の耐震改修による機能強化	耐震改修が実施されたので、維持管理に努めている。また、未だ耐震改修されていない施設については、第二期都市再生整備計画で事業計画に盛り込む。	平成24年度からの中野市地区都市再生整備計画を策定し、耐震改修を事業計画に盛り込んだ。	
	市街地の歩道整備	歩道整備が実施されたので、維持管理に努めている。また、歩道整備が必要な箇所については、第二期都市再生整備計画で事業計画に盛り込む。	平成24年度からの中野市地区都市再生整備計画を策定し、歩道整備を事業計画に盛り込んだ。	
	環状線の整備	環状線の整備が実施されたので、維持管理に努めている。また、環状線の整備が必要な箇所については、第二期都市再生整備計画で事業計画に盛り込む。	平成24年度からの中野市地区都市再生整備計画を策定し、環状線の整備を事業計画に盛り込んだ。	
改善策 ・まちづくりの目標を達成するための改善策 ・残された課題・新たな課題への対応策 ・その他 必要な改善策	公共施設の耐震改修・耐震化や防災施設の整備	老朽化した公共施設の耐震改修や小学校の屋内運動場の耐震化、また防災広場の整備については、第二期都市再生整備計画で事業計画に盛り込む。	平成24年度からの中野市地区都市再生整備計画を策定し、公共施設の耐震改修・耐震化や防災施設の整備を事業計画に盛り込んだ。	
	歩道の段差解消	歩道整備や段差解消について、第二期都市再生整備計画で事業計画に盛り込む。	平成24年度からの中野市地区都市再生整備計画を策定し、歩道整備を事業計画に盛り込んだ。	
	避難施設へのアクセス道路及び歩道整備	避難施設へのアクセスがスムーズになるよう道路整備、歩道整備について、第二期都市再生整備計画で事業計画に盛り込む。	平成24年度からの中野市地区都市再生整備計画を策定し、道路整備、歩道整備を事業計画に盛り込んだ。	

事後評価シート 添付様式5-③から転記

様式4-④ フォローアップにより新たに追加が考えられる今後のまちづくり方策

追加が考えられる今後のまちづくり方策	具体的内容	実施時期	実施にあたっての課題 その他特記事項
耐震改修されていない施設について、第二期都市再生整備計画で事業計画に盛り込む。	公民館の耐震補強工事を実施する。	H24～H26	
歩道整備が必要な箇所について、第二期都市再生整備計画で事業計画に盛り込む。	やさしい歩道づくり事業として相生町線他3線の歩道整備を実施する。	H24～H28	
環状線の整備や避難施設へのアクセスがスムーズになるよう道路整備について、第二期都市再生整備計画で事業計画に盛り込む。	東町10号線他21路線の道路整備を実施する。	H24～H28	
小学校の屋内運動場の耐震化、また防災広場の整備について、第二期都市再生整備計画で事業計画に盛り込む。	4小学校の屋内運動場の耐震化事業及び多目的防災広場の整備を実施する。	H24～H26	